



発行所	香川新聞社
編集者	香川新聞社
印刷所	香川新聞社
発行部数	11,714名
発行人口	5,858名
男性	5,856名
女性	4,172名
世帯数	4,172戸
発行年	2003.11.1現在
印刷	（有）スエカネ印刷

香川文化祭を終えて文化厚生委員長

持田 栄一



最後に会員の皆様を始め、自治会役員、出品者の皆様には大変ご協力、ご支援を頂き厚く御礼申し上げます。

★今年には出展者の方々から一言コメントを頂きました。

野点↓時々雨が降ったが、紅白の幕で引き立て、お茶を楽しんでいただきました。

ちぎり紙↓皆で文化祭に展示を目標に作品作りに楽しんでいきます。

編物教室↓最近あみ物をする人が少なく指編みを通して、編物を楽しんでほしいです。

水引工芸↓出展作品に苦勞しました。

深草陶芸教室↓いやしの遊び心、可愛らしさを表現することをメインに展示しました。

木工工芸↓三回目の出展で木作りを楽しみに作っています。

皮工芸↓今年が多勢の方が体験コーナーに参加してくれました。

パッチワークキルト↓文化祭に出店することは励みになり、楽しみでありますので続けて出展したい。

香川フットクラブ↓文化祭出展の為にシャッターチャンスを求めて歩いていきます。

陶器↓何年ぶりの出展でしたが周囲の皆さんの趣味の広さと作品に驚かされました。

鎌倉彫り↓毎年展示させて頂き、高い評価を頂いて有り難く思っています。

第二十二回文化祭は、初日に多少の雨はあったものの、まずまずの天気で楽しく賑やかな二日間でした。来場者は延べ約五〇〇人で、出品件数も二五件となり昨年を三件上廻りましたし、作品については年々レベルアップされているとの意見が多数聞かれました。又香川商興会による「カップピースタン」交換会が実施され日曜日の朝九時過ぎから長蛇の列が出来た事、それに伴い会場も賑わいを見せました。出品の皆様が日頃から努力された力作が数多く見られ来場者の方々も満足された事と思います。来年も反省会の希望、要望等をふまえて皆様の素晴らしい作品を展示され来場者の目を楽しませて下さる事を願っております。

います。

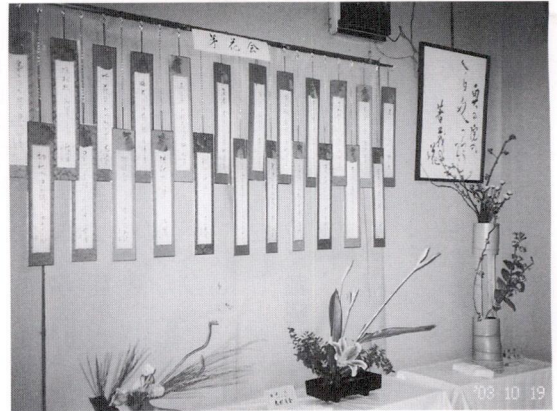
ねん土の花↓オリジナル粘土で花を作っているが何を作るか考えることも楽しみの一つです。

華道・書道↓生け花は、生き物なので枯れないように気を使っています。

竹細工↓昔のおもちゃを思い出して欲しい。

絵画↓みんなに見てもらえることが、励みになります。

石像物↓創造の世界であるので、見方は自由である。



《評議委員会での報告》

自治会長 吉田 弘司

日脚がめつきり短くなって来ました。日頃は、会員の皆様には自治会活動に格段のご協力をいただき感謝いたしております。

お陰様で私共の事業も一応前期の纏めの整理が整いましたので、十月二十六日評議委員会で活動と収支の状況を報告して、ご理解を得たところでです。

本年は、私共役員も二年目を迎えて、また、会員の方々のご協力をいただいたこともあって、会費の集りが順調に進みました。このため、町内会はもとより、各委員会の活動を事業計画に添って遅滞なく円滑に進めることが出来ました。

特に、八月の香川福祉ふれあいまつりでは、役員だけでなく、評議員や各団体の皆さんにも積極的に加わっていただき、準備から実施後片付けに至る迄、ご協力を頂きました。念願であった舞台も工夫をこらして造りあげたことも会場の雰囲気大きく盛り上げ、会員相互の親睦を深める場の提供が出来たと思っております。その他、七月の浜降祭、九月の敬老会、地引網大会も皆さんのご協力で盛況に行

うことが出来ました。

勿論、自治会の基本目標とする明るく住み良い町づくりを目指しての活動も併せて進め、防犯パトロール、防犯灯の整備、道路の安全確保、駐輪場の整理清掃、町内清掃運動の推進等々に加え、子ども会と協力して香川駅前花壇の美化推進にもたゆまぬ努力を積み重ねて参りました。

収支の状況につきましては、一般会計はほぼ順調に推移していましたが自治会館特別会計で、駐車場収入に黄信号が灯っています。後期に善後策を講じる必要が生じそうです。

さて、会員の活動拠点となつて

これは皆様が、先ず『もやせるゴミ』『もやせないゴミ』の区別を、明確にされている結果だと判断し、喜ばしく思っております。

一方で、ゴミの量から見ますと依然として減少は感じられません。市のデータでは、僅かではあるが減少しているとの事ですが、我々がパトロールしている所での、ゴミの減少は、感じられません。

問題は『もやせるゴミ』の多さです。

現代の象徴である、物の豊富さからの副産物であるかのように、ゴミ袋は大きく、その数も多く感じられます。

でも袋の中身を見ますと、紙類、ダンボール、菓子の箱、牛乳パック等、資源物として再利用出来る物の混入が、多々目につきます。

この様に、再利用出来る物も、『もやせるゴミ』として出しますと、当然焼却されてしまいます。すると私達が一番心配している、焼却灰が増える事になります。

以前にも記しておりますが、堤の焼却灰最終処分場も、限りがあります。

我々は、出来るだけゴミを減らし、焼却灰の発生を少くして、最終処分場を、より永く使用したいのです。

その為にも、分別の折は、『ゴミ通信』が『さき』に『従い、少量でも再利用出来る物は、徹底して再利用する様、お願い致します。我々は、物を大切にすることを、子供達に教え、ゴミを減らしたいのです。

ゴミパトロールで感ずること

衛生委員長 森谷 信夫

毎々、ゴミ出しでのご協力、ありがとうございます。我々は、環境指導員として、毎月ゴミのパトロールを行っており、その折り感じた事を、一部記してみます。

最近、特に感ずる事は、ゴミの収集後に残される物が、非常に少なくなつた事です。

自治会館へ寄贈

舞踊の幸多香会様より和室の菊の間に「時計」の御寄付がありました。いつも利用させて頂いてる御礼のこと。誠に有り難うございます。

各町内会ニュース

第一町内会

活動報告二題

「救急車がくるまでに」

平成15年度普通救命救急法講習会が9月28日9時30分～12時30分に香川公民館で開催されました。参加者29名(受講者11名、継続15名新規12名)、消防署員5名受講者の感想

★組長として、多くの方々と救命法を受講させて頂き、有益なお話と実技を経験させて頂き有難うございました。特に心肺蘇生実技では、実技の流れを簡単に覚えられず、年齢から来る動きの悪さで苦労いたしました。これからも機会ある毎に参加して、人命救助の助けなど出来る様に、実技の流れを覚えるようにしたいと思います。

★心肺蘇生講習会は二回目です。一回目は何をしたらのか無我夢中でした。今回は少しの経験で声も大きく出せるし、講習も気楽に受け人ひとり、すぐくていねいに失敗してもやさしく教えて下さり感心致しました。人命の尊さ、大切さ又日頃の地域へのかかわりの大事なことを学ぶことができ、反省と感謝の思いでいっぱいです。次回も参加してゆきたいと思えます。

「香川地区体育大会目標の五位達成！」

スポーツの秋というのにぴったりの一日。楽しく過ごしました。対抗種目には26名の申し込みがあり延べ120名の出場者選考の潤滑油に。一般種目への出場も多く、断わられて泣いてしまう子も出る等、子ども達が元気でました。来年の目標は四位以上！お疲れさまでした。(申し込み26名・依頼44名・実行

委員11名

第二町内会

体育大会で優勝

十月五日(日曜日)行われた第三十五回香川地区体育大会で、第二町内会は、総合で優勝の栄冠に輝きました。百足競争まで総合五位に甘んじていましたが、最後の町内対抗リレーで男女共文字どおりラストスパートを掛けての逆転優勝でした。各対抗種目共、選手選考に当たっては、町内会役員はもとより体育振興会役員、子供会役員など関係各団体の方々のご理解とご協力を得て、多数の方のご参加をいただいたことを更めてお礼申し上げます。

◎体育大会の反省点
十月十二日、体育大会の反省会を行いました。老若男女多数の出席を戴き特筆は子供5人も同席し、優勝旗と記念撮影を致しました。

◎防犯パトロール(通学路)
十月十五日には今年度四回目の防犯パトロール(鶴が台中学校通学路)を午後六時より七時まで行いました。

◎警察と第二町内会合同パトロール
十月二十七日は、茅ヶ崎警察地域課千葉昭二警部補よりの申し入れにより町内の防犯パトロールを合同で実施しました。

◎今後の年内活動予定
○町内清掃キャンペーン十一月八日(その後芋煮会) ○湘北地区防

災訓練参加十一月十六日○市民集会十一月二十二日○厚木防災センター等研修十一月二十五日○町内四役会十一月二十八日○町内役員会十一月十四日○防犯歳末パトロール(通学路)十二月十七日○新組長選出・町内四役会十二月二十一日○駅前・自治会注連飾り(しめ縄等)十二月三十日などです。

第三町内会

文化の秋、食欲の秋、そしてスポーツの秋です。

今回は第三町内会の体育振興会の役員より活動内容をお知らせ致します。

メンバーは江尻さん、金森さん、坪田さん、稲葉さん、小松の男性五名で各種行事の際の脇役を務めて頂いております。

年間の主な行事は、六月にバトミントン大会、七月に男子はソフトボール、女子はキックベースボール、八月は親子で楽しむスポーツフェスタ、十月は公民館祭りでの餅つき、十二月はソフトバレーボール大会、二月は卓球大会と多くの行事があります。

今年度の成績は、六月のバトミントンはメンバーが揃えられず残念ながらオープン参加、しかし七月の炎天下の大会では、男子のソフトボールは連続優勝、女子のキックベースボールも優勝と、アベック優勝をすることができました。

そして十月の体育大会では玉入れは一位、缶競りレレーは二位、百足競争は二位と大いに盛り上がり最終種目のリレーに総合優勝を賭けましたが、選手の皆様の精一杯の走りは有りましたが、総合優勝には届きませんでした。結果は優勝チームと五点差の総合三位の成績を収めトロフィーを頂くことが出来ました。

参加頂きました選手の皆様は本当にお疲れ様でした。体振役員の仕事は、役員会へ参加し、年度始めの行事予定の話し合い、新しい行事の検討、各大会前の役割分担、ルールの確認、大会前の準備、各大会当日の進行等があります。

そして五名の体振役員の最大の苦勞は、各大会前の選手集めに有ります。競技によっては男女共に3名づつすら集めることが出来なかつたり、体育大会のリレーの選手集めでは、非常に苦勞しております。

今年度もソフトバレーボールや卓球が残っております。町内の大会は参加者が楽しめることが一番と考えております。是非、積極的に参加していただき、スポーツの輪を広げていきましょう。

最後に選手集めの苦勞には、女性の役員が居ない事も有るように思います。役員を一緒に行っていた、ただける方が居りましたら連絡を頂けます様お願いいたします。

第四町内会

◎9月7日、恒例の香川地区敬老大会が、農協会館に於いて盛大に開催されました。

総勢138名の方が参加され、当町内からは34名が参加されました。今年も88才以上の方に花束の贈呈があり、24組の三橋ふで様(97才)と14組の椎名シマ様(88才)が受贈されました。誠に有難うございます。

先日、お二方に健康で長生きの秘訣についてお尋ねしたところ、三橋ふで様は、千葉県長生郡のお生まれで特に秘訣などありませんが、幼い頃よりきな粉が大好きで毎日ご飯にふりかけ、長年に亘り食べてきたのが、体力づくりになったのではないかと笑みを浮かべながらお話し下さいました。今は朝晩二食でおかゆを召し上げるそうです。又趣味も多く裁縫、ちぎり絵、リボンフラワー、カラオケ等々多岐にわたって、現在も活躍されているそうです。

一方、椎名シマ様は藤沢のご出身で特別な事は何もやっておりませんが、食事には気を付けて油物を控え目にし野菜、魚、果物などバランスよくとり、良く歩き、睡眠を充分とるそうです。又、趣味の民謡やカラオケを通じて、出来るだけ多くの人に接し、誰とも気に話すことを心掛けているとのこと。何れにしても、お二方の元気の源は食事に留意し、体を動かし、多くの人に接することのようです。

◎9月、10月度活動報告
9月7日 敬老大会参加協力
9月11日・18日・29日体育大会の選手選考について、町内役員、体育振興会役員との合同会議。
9月27日、町内美化キャンペーンを実施しました。
10月5日 香川地区体育大会に参加、成績は4位でしたが、より一層の親睦が深まり、協調精神の向上を計ることが出来ました。
10月18・19日 文化祭参加

環境ポスター展開催
平成十五年環境ポスター展は九月二〇日(土)～二二日(日)の間香川自治会館において開催する。初日は雨降り、二日目は台風十五号の接近の大雨の天候のなかで、開催となる。

今年度のテーマ設定会議は子供会役員の出席で検討協議し、テーマ主旨は子供達の将来は自分がどんな大人になっているか、今この時の思いを一枚の絵に表現してもらおうテーマとして、「ぼくのゆめ、わたしのゆめ」と題しポスターを書いてもらいました。

この作品は子供達の「ゆめ」が表わされています。内容を紹介しますと、ケーキ屋さん十五点、スポーツ選手十五点、ポイすてない町十三点芸能人十一点、花屋さん十点、公園のある家



子供らしい夢を実現するため、大人たちの役割として、家庭から、親子の対話からの環境作りが大切です。一人でも多く夢を育てて、実現して頂きたいと思えます。

当委員会は、子供達に土、花の自然にふれあう、場所として、香川駅前の花壇管理と広場の清掃を推進しています。

毎日出勤の方の行き帰りの心安すまる風景を提供しています。

追記、子供達の夢のなかで政治家になりたい人は居ませんでした。

第35回 香川地区体育大会 10月5日 体育振興会



負 勝
 網引き
 松風台
 甘沼
 第4町内会
 第3町内会
 第1町内会
 第2町内会



各町内会対抗種目競技
 ◇玉入れ
 一位 第3町内会
 二位 第2町内会
 第4町内会
 四位 甘沼自治会

「毎年行われる香川地区体育大会が10月5日(日)に香川小学校校庭で盛大に開催されました。今年は香川の町、甘沼、松風台がきれいな町になりますよう環境を良くするため「缶競りレ」を新競技としてこころみしました。20個の缶をつり糸で20人の選手がつりサイクル袋に入れて全部つり終わった選手がリサイクル袋持つて走る競技です。いかがでしたでしょうか? 左記に成績発表の結果をお知らせします。



◇缶競りレ
 一位 第1町内会
 二位 第3町内会
 三位 甘沼自治会



◇百足競争
 一位 第1町内会
 二位 第3町内会
 三位 甘沼自治会
 ◇町内対抗リレー男子・女子
 男子 一位 第2町内会
 二位 第4町内会
 三位 甘沼自治会
 女子 一位 松風台
 二位 第2町内会
 三位 甘沼自治会

総合成績

優勝 第2町内会
 準優勝 甘沼自治会
 三位 第3町内会

「抽選会も今年は豪華な商品テレビや自転車などが当り皆様最後まで多勢の声援ありがとうございました。来年も又おたのしみ皆様御参加お待ちしております。役員、選手の皆様お疲れ様でした。

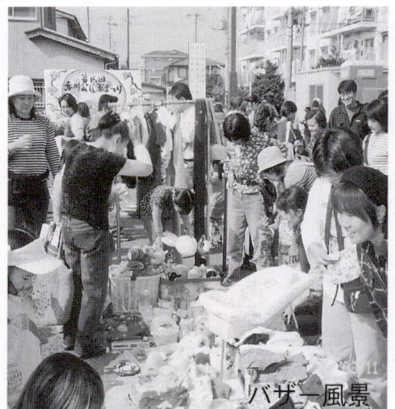
お知らせ

地区対抗ソフトボール大会
 月日 十二月 七日
 場所 香川小学校体育館
 時間 九時三十分開始

優勝!!

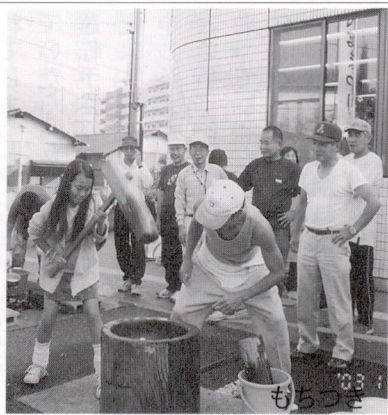
第2町内会
 10月5日に開催された香川地区体育大会。今回は子供会も参加し例年ちよつびり淋しい入場行進も大勢の子供の参加で活気が溢れていました。体育祭新顔のお父さんお母さんをお援しようとして子供達の応援もヒートアップ!綱引きでは黄色い旗を持った応援団が選手を横を陣取りヨイショヨイショの大合唱♪応援の凄さに注目を集めながらも中々得点につながらずヤキモキした時間が流れました。

公民館まつり



地域の輪

10月31日(金)〜11月2日の三日間恒例の公民館まつりが開催されました。今年のテーマは「つどい」笑顔でつなごう地域の輪」で一人一人の笑顔はそれぞれ素晴らしいものがあり、みんなで協力し合っ一つのものが出来上がることは嬉しいことで自然に笑顔が出来、地域の輪が広がるのではないのでしょうか。展示作品、サークル発表、バザー等盛沢山の催物があり、今年の講演会は講師河野清先生「今年はダメかしら?誰もがそんな気持ちになっても子供達は諦めません。大差で迎えた最後の対抗リレーでもコースギリギリに並び



たくさんとれたよ

9月28日(日) 早朝よりふれあい委員会の恒例の地引網が大人・子ども家族連れの沢山の参加者で網元忠衛門の漁師の皆さんの力で楽しませて頂きました。毎年10月子共一位!喜び一杯でテントに戻ると振りすぎてポロポロになった黄旗と笑顔の迎えが選手達を待っていました。盛り上がる中で成績発表でまさかの逆転優勝。ヤッター!5年ぶりの劇的な優勝に大歓声があがりました。

風船やリボンで可愛らしく飾られたテント・沢山用意して頂いた黄旗・子供への声掛け等々、自治会の方々のお陰で皆が存分に体育大会を楽しむ事が出来ました。当日に至るには沢山の方のご協力があった事を知り改めて感謝致します。第二町内会の連勝を目指して来年も大勢の方が参加して下さいませよう、みんなで体育大会を楽しみましょう。

(第二町内会 関口みどり)

に行なわれるはずが天候によって早目の9月28日になりましたが、あじやしらすが大漁にとれました。こと、参加者は大喜びでした。普段となり近所会話の少ない人と人とのふれあいが、おしゃべりしながら、飲んだり、食べたりして地域の皆さんと仲良く出来ることはすてきなことだと思います。子供達も広い広い海を見ながら宝さがしを楽しみ当った景品を喜んで帰る笑顔はなんとも言えません。毎年沢山の焼そば作りの役員さん、企画準備御苦労様でした。

ニユースポーツ
 「ユニホック」教室・大会の件
 白井 崇夫
 ユニホックとは冬行うアイスホッケーを体育館でプレイ出来るように改善された競技です。他の競技と異なり三十分練習すれば、即試合可能なスポーツです。会名「ユニホック2003 in 茅ヶ崎」、主催：茅ヶ崎体育指導委員会・茅ヶ崎体育振興会連絡協議会、日時十一月二十四日(祭日)九時〜十五時三十分(受付八時半)場所：茅ヶ崎市総合体育館
 参加資格：市内在住・在勤の小学生以上の男子・女子
 参加料：大会のみ二百円(中学生以下は無料、種別 教室(無料)大会(小学生・男子・女子)
 申込：個人・団体(一チーム六人・代表者表記の事)、持物 体育館履・弁当・飲み物・他
 お問い合わせは左記へ
 香川地区受付係 白井 崇夫
 電話番号 (54)5068
 住所 香川二丁目四二九
 皆さん奮って御参加下さい。
 親子で行う共通のスポーツを。
 (広報茅ヶ崎・10月15日号参照。)

みんなの声

今思っている事

香川小学校5年 澄川 尚人

十月になつて運動会が無事終わりました。運動会は、ぼくたち緑組が優勝しました。ぼくはとてもうれしかったです。たぶん緑組のみんなも同じ気持ちだったと思います。でもくやしかった競技があります。いつも休み時間に練習してきたのに、二位という結果で終わってしまいました。ほんとうにくやしかったです。そして、今がんばっている事が二つあります。一つは、十一月二十一日金曜日茅ヶ崎市文化会館大ホールで行なわれる音楽会です。ぼくは音楽会が楽しみです。なぜかという、夏に自由参加の練習が四回ありました。ぼくは、三回しか行っていないけれどもそ

太極拳 講習会

講師 山田 賢治

毎年、年1回乃至2回、北陽中学校に於いて、ふれあい講座の一環として、太極拳の講習会を行っています。今回は9月6日9時30分より11時30分まで、約2時間やりました。途中15分たらずの休憩をとった以外は、長時間を真面目にきつちりやり遂げたのには、



感服しました。今の青少年はひ弱などと、よく言われておりますが、一概にそうとも言えないと思えました。肝心の太極拳は若いだけあって、元氣溼刺刺しく教えさせていたいただきました。又、今年はPTAの方より、お話が有りまして、同じ月の26日14時から15時40分までやりました。流石にヤングママだけあって、動きも非常にリズムカールで、太極拳も大変よかったです。

或る日突然の出来事

習慣男

或る日突然なんて事が有るが、朝起きたら一切の音が消えていた。洗濯機、掃除機、子供の泣き声、等が皆聞こえなくなりました。びっくりにして医者へと思つたら今日は日曜日、どこか体の具合が悪いなんて言う日は大体休日が多い、と思いつながら耳鼻科の有る休日診療所へ家族に連れられて向かった。何しろ左右の耳が全然聞こえないから妻や息子の言う通りにならないうが何んだか分からない。比んなに妻や息子の言う事を聞くのは近頃になかったなと思いつつ、突発性難聴の為市民病院に入院する事になってしまった。普段から左耳には蝉が一匹鳴いている様に耳鳴りがした所に今度は右耳の閉

寒感、これは果たして治るのだろうか、先生の返事は治療が早ければ三割位の人は治るが三割位は治らないと宣告された。後の残り三割は補聴器を付けばなんとか聞こえるくらいになるとのこと、私は治る三割を信じるしかないなと思ひ信じた。入院した一日二日は本当に困った。看護婦さんの言う事が何んにも分からない、仕方無く筆談で、書いて貰い返事は言葉で返したが自分の声の大きさが分からないので大声を出すらしくその度毎に注意を受けたり大変な騒ぎだった。三日目位から少しづつ聴力が戻って来たので良かったが、それ迄の音の無い世界は普通の人には想像も出来ない不自由な世界だった。突然何が起きるか分からない人生を思い知らされた二十日間の出来事でした。

坂東三十三観音巡り

最近、坂東三十三観音巡りを歩き始めた。初回は昨年三月二十二日鎌倉杉本寺。そこから釈迦堂口を経て田代寺、逗子の岩殿寺、そして長谷観音とその日は歩いた。観音霊場巡りが作られたのは、源頼朝を中心とした坂東武者で鎌倉から時計回りに関東を一周するように作られており、神奈川県は九ヶ寺ある。

この旅の良い所は行きたくなったら、自分なりの方法で行けば良い。それが私向きである。思い出しても結構いい加減である。泊まる所はその日の予約、それでも泊まらなかった事はない。温泉で一泊一万円。朝食はバイキング方式でも結構良いホテルにあたってはいる。昼食は良い店に当たらない。知らない土地へ初めて行くのならもう少

お知らせ

◇自治会館駐車場利用 自治会館を使用される方は、会館右側に駐車場が4台分ありますのでどうぞ御利用下さい。 駐車料金 一回につき400円です。 ◇電話番号変更 会員名簿頁100第4町内会(3-9組) 渡辺百様の電話番号が変更されました。 新☎(27)0630(旧519512)

お詫び

◇会員名簿記入もれ 第2町内会34-2組 水野恵司様 ☎(57)6354 住所 香川4-9-16です。深くお詫び申し上げます。

計報

平成15年11月8日 現在

岡田	龍様	75才	9月7日
関根	久代様	61才	9月14日
三橋	利房様	57才	9月20日
木内	孝久様	85才	9月21日
小林	太郎様	79才	9月26日
綿引	由男様	68才	9月30日
上原	悦子様	77才	9月30日
石井	榮様	80才	10月1日
濱田	健三様	64才	10月4日
高宮	昌恒様	60才	10月8日
阿部	富士様	85才	10月15日
高宮	アヤ様	85才	11月1日
宮崎	鑑二様	78才	11月4日
谷畑	洋子様	72才	11月5日
			37-2組

心より御冥福をお祈り申し上げます。

俳句 花会

どうぞ四・五日の旅に出るの でしょう。日暮れけりが効いてい るのです。 放流のしづきに揺る草紅葉 入り海の舟屋の暮し秋深む 丹後半島の伊根町にある有名な「船屋」を詠まれたの一句。 入江になった漁港の、渚に作られた独特の家造り「船屋」。い つぞやテレビで見た記憶があり ますが、正に海上での暮しと言 える独特の暮しである。季節に 敏感な海での暮し、それだけに 「秋深む」が一入身に滲みて感 じられる。独特の味わいの一句。

田辺美津枝 後藤 幸香 小林 鱒一 選

おそ秋の一日一日を惜しみけり 山茶花の一ひら散りて日暮れけり 「一ひら」がやや気になりま すが、初冬の頃の山茶花も咲き はじめの頃を見て、短日と相俟 っつて、その頃の影がよく言い現 わされていきます。一ひらはひと 片か。暮れがての庭隅などでち らと散り落ちるのが見えたので

秋霖やちみみて急ぐ傘の下 類杖の古き野佛秋の蝶 掌にのせし蓑虫動く気配あり 砂硬き九十九里浜霧の中 露天風呂ぐるり信濃の山紅葉 実さくろや猫抱いてゐる男の子 高枝缺とどかぬ先の柿の彩 初鴨の夫婦なるらし神の池 選者 吟 長島久江 ☎(57)六五二五

秋の蝶の暮し、それだけに 「秋深む」が一入身に滲みて感 じられる。独特の味わいの一句。 呼び声の吾子と知れたる大花野 地に近き草に紛るる秋の蝶 秋の蝶の実態をよく把えてい ます。「地に近き」と思ひ切っ て飾らずに言ったところが秋の 蝶の正確な描写となつています。 あの高くは昇らず、地にすれす れによるよとさ迷っている姿 がよく見えます。単純で率直 なのが俳句の命です。 長島 久江 吹かれつつ棚田を越ゆる秋の蝶 秋深む旅の荷へ足す常備薬